

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■ 医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。

● 求める人物像

関心・意欲・態度

栄養学・医学に強い関心があり、医科栄養学を生涯にわたり学ぶ目標をもつ人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

探究力

問題解決や知識探究に意欲をもつ人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語—医学・栄養学の専門的な論文を将来読み、理解できるための読解力と表現力、コミュニケーション能力

数 学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考法

理 科—自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探究心

そ の 他—食生活や医療に対する関心をもち、理論的に科学を思考する能力と姿勢

● 入学者選抜の基本方針

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験と個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では「表現力」をあわせて評価します。国内のみならず国際的な視野をもつ人物を求めるため、英語能力に重点を置き、総合的に選抜します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では「関心・意欲・態度」「思考力・判断力」「表現力」「探究力」を評価します。より深い知識とともに思考をめぐらせて、自らの関心等を表現できる人を総合的に選抜します。

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）＜主体性重視型＞

個別試験で「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「知識・教養」をあわせて総合的に評価します。推薦入試Ⅰでは、医科栄養学研究に対して、高い主体性をもって行動できる人を総合的に選抜します。

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）＜主体性と学力重視型＞

大学入試センター試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「思考力・判断力」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
基礎学力テスト	推薦Ⅰ	面接の資料として、基礎学力（数（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B程度）、外（英）を問うテストを行う。
集団討論	推薦Ⅰ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。評価にあたっては、a 栄養学への関心、b 人柄・協調性、c 生活態度・特別活動・積極性、d 将来性等について総合的に評価する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、詳細に記入して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書*	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	高等学校での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を重点的に評価し、学習の記録を参考とする。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	探究力	協働性
(センター試験)	一般（前期）						
	一般（後期）		○	○			
	推薦Ⅱ						
個別学力検査 <教科>	一般（前期）		○	○	○		
基礎学力テスト	推薦Ⅰ		○	○			
集団討論	推薦Ⅰ			○	○		○
個人面接	一般（後期）						
	推薦Ⅰ	○		○	○	○	
	推薦Ⅱ						
志望理由書	推薦Ⅰ	○			○	○	
	推薦Ⅱ						
調査書*	推薦Ⅰ	○					○
	推薦Ⅱ						

*一般入試（前期）、一般入試（後期）においては調査書を参考とする。